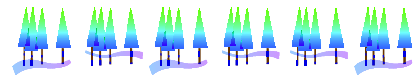


臨時PTA総会校長あいさつ



皆様、今日は。本日は御多用な中をお集まり頂きありがとうございます。皆様御存知の通り、今年の元日は能登半島地震が発生し、大災害となりました。今なお、断水や停電が続き、孤立した集落も多いと聞きます。地区によっては、中学生の集団避難も起きているようです。そうした人々の苦難を思えば、こうして平穏に日常生活が送れることのありがたさを感謝せずにはおれません。保護者の皆様も、同様なのではないかと思います。

さて、本日お集まり頂きました趣旨は、年末の総会でお示したPTA及び後援会の規約改定について御協議頂くと共に、PTA加入にかかる意向調査の結果をお知らせし、次年度のPTA組織やその運営方法について話し合ってください。詳細はこの後、PTA会長から御説明がありますので、それをお聞き頂いた上で、箒根学園として次年度以降どう歩んでいくのかをお決め頂ければと思います。

市教育委員会より新しいPTAの在り方について一石が投じられ、各学校が模索を開始しています。それをどう進めていくか、また、どういう結論に達するかは学校に一任されています。それを受けて始まった一連の動きではありますが、これまでである意味当たり前にあったものをゼロから見直しを図り、新たなものを形作することはたやすいことではありません。本日に至るまでに総務部の皆さんが何度も集まって協議しながら内容を詰めてくださいました。

正直、こうした経験は皆初めてですので、すべてが手探り状態です。今後、年度末に向けてより具体的な方針が決まり、4月からそれを運用していくことになると思いますが、きっと様々な課題に向き合うことになると思います。最初から完璧にいく事はまずないと思いますので、改革初年度に出た課題を改善しながら、時間をかけて箒根学園らしいPTAの在り方を固めていけば良いのではないかと考えています。

何事においてもそうですが大切なことは、こうした動きを他人事にせず、当事者意識をもって真剣に知恵を絞るということだと思います。また、時代の流れに即した新たな仕組みを考えると同時に、保護者の協力なしに潤いのある楽しい学校は作れないという事実も御理解頂けますと幸いです。学校教育もPTAも私たちが目指すべきものは「子供たちの幸せ」です。その軸からぶれずに、御判断頂けますとなお幸いです。以上、雑ぱくではありますが、御挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い致します。

